

会員の制度



【会員の種類】

エネ経会議には、以下の3種類の会員資格があります。会員資格の種類により、入会資格、入会手続き、会員特典、会費などが異なります。

正会員

サポート会員

【NEW】賛助会員

【会員資格】

正会員

事業等の経営に関わっている法人又は個人（個人事業主、法人経営者、役員など）が対象です。（正会員2名以上からの推薦が必要です。）

サポート会員

事業の経営に関わっていない個人の方にもご入会頂くことができます。当社所定の入会申込み手続きが必要です。

【主な特典】

正会員

- ・会員限定メールマガジン（毎月配信）
- ・「エネルギーなんでも相談所」の専門家によるコンサルティング
- ・会員限定のコミュニケーションツールへのアクセス
- ・再生エネルギー先進地視察会（年3～4回程度開催予定）への参加（割引）
- ・エネ経会議主催のイベントへの参加（割引）
- ・会員大会（年1回開催予定）への参加（割引）
- ・各種イベント後に開かれる懇親会に参加（割引）

サポート会員

- ・当社の会員企業や著名人アドバイザーから発信された、会員限定の情報に触れたり、会員限定のイベントに参加することができます。但し、参加人員に制限がある場合は正会員優先となります。
- ・会員限定メールマガジン（毎月配信）
- ・再生エネルギー先進地視察会（年3～4回程度開催予定）への参加（有料）
- ・エネ経会議主催のイベントへの参加（有料）
- ・会員大会（年1回開催予定）への参加（有料）

【年会費】

正会員 1万円

サポート会員 年会費：2千円

（消費税等が課税される場合には、消費税等を上記金額に上乗せの上請求させていただきます。会員資格は毎年4月1日から翌年3月31日まで有効です。）

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議

代表理事プロフィール

鈴木梯介(すずきていすけ)

1955年（昭和30年）、神奈川県小田原市生まれ。



鈴廣かまぼこグループの代表取締役副社長。
神奈川県立湘南高校、上智大学経済学部卒。
1981年から1991年まで、米国ロスアンジェルスにて、スリミ、かまぼこの普及のため、現地法人の立ち上げと経営にあたる。帰国後は家業である鈴廣の経営に参画。慶応元年（1865年）創業の歴史を尊重しつつ、変化し続ける日本人の食生活の中で、かまぼこの存在価値を高めるべく挑戦の日々をおくる。「食べもののいのちを大切に」をモットーとする。

商工会議所活動にも関わり、日本の元気は地域からと地元のみならず全国のネットワークを活かし、地域の資産を活かした地域の活性化と自立を目指し奮闘中。

2000年・2001年度 小田原箱根商工会議所青年部会長
2003年 日本商工会議所青年部会長
2009年 第3回ローカルサミット実行委員長などを歴任。
アジア商工会議所連合会 若手経営者委員会副委員長
小田原箱根商工会議所会頭
一般社団法人 場所文化フォーラム理事

入会案内:

1. WEBの入会申込みのページから申込書にご記入の上、事務局宛に送信ください。
2. 事務局からご紹介の会員に確認取れ次第、メール返信いたします。
3. 会費をお支払いください。（お支払いは銀行振り込みにて。）
4. 入金確認後、メール返信いたします。
5. 入会手続き完了です。

一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議

事務所：東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2階 / 244

メールアドレス: contact@enekei.jp

公式ホームページ: <http://enekei.jp>

エネ経会議 |

検索



FacebookとTwitterでログインできます。



エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議

設立の趣意

私たちは経営者の集まりです。

地域に生まれ、育ち、暮らす顔の見える人々とともに働き、地域に支えられ、地域を中心の活動とし、経済活動の一翼を担っている中小企業たちです。

私たちは目指します。

経済人としてエネルギーの問題を正面から捉え、地域での再生可能エネルギーの自給体制の実現を通じて、持続可能な地域経済と地域社会の自立を。

私たちは問い直します。

本当の豊かさとは何かと。「経済」とは単なるお金のやりとりとその周辺での出来事だけでなく、「経世済民」つまり、天下を治め民を救うためのしくみのはず。その本来の姿を取り戻すためには「お金のものさし」だけでない「いのちのものさし」が大切だと。

私たちは行動します。

私たちが具体的に取り組むべきは、単なる反原発運動ではなく、原発がないほうが健全な国・地域づくりができるという対案を示し、それを実践していくこと。そのひとつは地域でのエネルギー自給のしくみを、最初は小さくともいいから、同時多発的に実現させること。たくさんの小さな循環を起こし、そのネットワークを創っていくこと。いわば「実践のネットワーク」。それが私たちの役割だと任じています。

主な活動

地域の経済活動の担い手である中小企業の経営者が全国各地から集い設立。

「地域で再生可能エネルギーを中心としたエネルギーの自給体制をつくること」「賢いエネルギーの使い方を学び実践すること」の二つを柱として活動しています。

具体的には、勉強会、視察会、会員大会、「ご当地電力レポート」を始めとする会員向けの情報提供、各種メディアや講演会などを通じての意見発信、志を共有する他団体との連携事業などに取り組んでいます。

専門的なあるいは、より広い視野での知見を得るために、学識経験者、研究者、首長、政治家、ジャーナリスト、コンサルタントの方々にアドバイザリーボードに加わっていただき連携、協力を図っています。



会員による再生可能エネルギーの導入、省エネの実践のため、エネルギーの各分野の専門家からなるテクニカルアドバイザリーボード「エネルギー何でも相談所」を設置し創エネ、省エネの技術面、経済面についての会員からの問い合わせに迅速かつ的確に答える体制を敷いています。持続可能なエネルギーに裏打ちされた持続可能な事業経営と経済社会の実現のために志民・行政・各種団体が連携・協力する場を提供していきます。



[平成24年3月設立総会の様子]

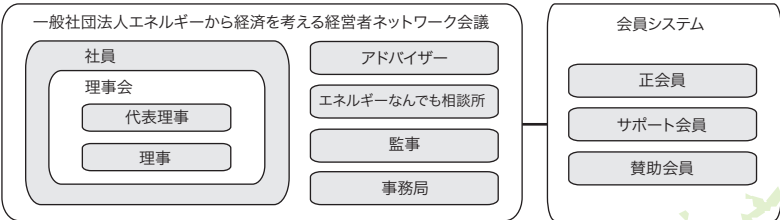


[平成26年5月橋原視察の様子]



[平成26年5月橋原視察の様子]

組織の概要



事業内容：当法人は、持続可能なエネルギーに裏打ちされた持続可能な事業経営と経済社会実現のために、地域経済の構成員である事業者が連携・協力する場を提供することを目的に、その目的達成のために下記の事業を行う。

- (1) 地域でのエネルギー自給体制確立に資する活動
- (2) 再生可能エネルギーの実用化に資する調査研究活動
- (3) 原子力発電に関する正しい情報の把握と共有
- (4) 持続可能な経済の在り方の調査研究と提言発信
- (5) 持続可能な企業経営の在り方の調査研究と提言発信
- (6) 前各号に掲げる事業に関する地域での志民、行政、各種団体との連携、協議、情報交換と啓発活動
- (7) その他前各号に掲げる事業に附帯または関連する事業